

# 愛知県国際農友会だより

●平成 26 年度の活動を振り返って

●平成 26 年度の主な活動

- ◇平成 26 年度通常総会◇アジア農業研修生の受け入れ◇海外派遣研修生の帰国
- ◇新たな海外派遣農業研修生の発掘、農業高校での啓発活動◇国際農業者フォーラム
- ◇平成 26 年度海外派遣農業研修生の激励◇東海・近畿・北陸ブロック国際化対応営農研究会
- ◇平成 26 年度欧州農業研修生の壮行会

■発行日 平成 27 年 3 月 31 日

■発行人 愛知県国際農友会

## 平成 26 年度の活動を振り返って

### ～愛知県国際農友会活動について～

会長 天野 治（豊橋）

会員交流会、国際農業者フォーラムは、ともに有意義に開催できました。担当の豊田三好支部、尾張西支部、海部支部の皆さん、ありがとうございました。

研修生を送り出し、帰国者を迎える、今までのリズムが戻って安堵した 1 年でした。貴重な体験ができる海外派遣農業研修事業は、“困難な状況にも立ち向かっていける”そんな勇気を持たせてくれる研修の場だと思います。

その研修の場を、若い皆さんに知って、興味を持っていただきたく、農業高校への啓発広報活動を始めました。いつか花開くと思い、続けていきたいと思っています。

今後も本会の活動に対して関係機関のご指導、ご支援をお願いいたしますとともに、会員の皆様の更なるご活躍、そして本会へのご協力をお願いいたします。

### ～会員交流会を開催して～

理事 浅井 紀好（豊田三好）

平成 26 年 7 月 31 日、今回は前年から少し場所を変えて川口ヤナにて会員交流会を開催し、100 名を超える方に参加していただきました。改めて打合せと準備の大切さを教えられました。全ては 2 回目ということでスムーズに進むと思いこんでいた自分の甘さに気づかされました。いろいろと不備な部分があったかと思いますが皆さんの協力により予定どおり進めることができました。豊田に来ていただいて地元農産物の旬の「もも」と「ジェラート」を食べていただき、農友会らしい交流会ができたと思います。また、家族間の交流もでき、とてもいい夏の思い出の 1 日となりました。

皆様、本当にありがとうございました。



## ～初の試み 農業高校での啓発活動を実施して～

副会長 大島 智（尾張東）

平成 26 年 10 月 17 日、今年度からの試みとして、愛知県立安城農林高等学校にて海外派遣農業研修の啓発活動を行いました。

当日はテスト期間中にもかかわらず、14 名（農業後継予定者 10 名・派遣希望者 4 名）もの生徒さんが集まってくれました。

啓発活動は、農場長の竹内匡介先生からの農友会の出席者紹介に始まり、天野会長からあいさつ・派遣事業の概要説明をしました。

その後、同校の卒業生である小管康博理事（安城・岡崎支部）からアメリカ、鈴木裕己理事（豊橋支部）からオランダでの研修の体験談を話し、質疑応答の後、竹内先生よりまとめていただきました。

今後、国内の農業がグローバル化していく中で、将来の農業を担う人たちにもっと世界に目を向けて欲しい、たくさんの経験を積んであらゆる可能性を探って欲しい、そのような気持ちで、これからも他の農業高校に対しても啓発活動をより一層力を入れていきたいと思います。



## ～国際農業者フォーラムを終えて～

理事 佐藤 太治（尾張西）

平成 27 年 2 月 12 日、名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館）にて尾張西支部、海部支部合同で国際農業者フォーラムを開催し、会員など約 60 名に参加いただきました。

講演会では愛知大学現代中国学部の高橋五郎教授をお招きし、演題「中国農業生産の実態と食品安全～愛知県の農業生産者がすべきこと～」についてお話いただきました。

研修会では海外研修生の受け入れ制度（農業青年人材育成事業）の概要説明と、アジア農業研修生（インドネシア）の成果報告をしてもらいました。また、海外派遣農業研修生帰国報告会と激励会を行いました。

情報交換会ではインドネシア料理のレストランからハラール料理を出前してもらい、宗教上食べられる食材に制限があるインドネシア研修生にも楽しんでいただけたと思います。

当日はお忙しい中、多数の会員の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。



## ～東海・近畿・北陸3県ブロック国際化対応営農研究会及び組織会長会議に参加して～

理事 鈴木 裕己（豊橋）

平成 27 年 2 月 12・13 日、会長代理として豊田支部の浅井理事と共に、和歌山県で開催された「東海・近畿・北陸 3 県ブロック国際化対応営農研究会及び組織会長会議」に参加しました。講演会では「次世

代に継げる農業経営」をテーマに(株)副早和果樹園代表取締役社長の秋竹新吾氏の話の話を聞きました。

こちらの果樹園は450年以上の歴史と伝統を誇る「有田みかん」産地にあり、果樹生産活動にICT農業システムを導入し、6次産業化も積極的に進め、現在加工品比率は果樹生産量の6割に達しています。会議中に製品のみかんジュースが配布されましたが、とても美味しく早速御土産に買いました。

研究会終了後に交流会が開かれ、各県の皆さんとの自己紹介から始まり、研修時の思い出や情報交換など大いに盛り上がり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

2日目の組織会長会議では、各県組織の現状と今後の活動展望、国際農業者交流協会からの協議事項を話し合いました。

午後からは近隣のOBの方の圃場を見学させていただいたり、農産物直売所を見学したりして帰路につきました。

次年度の開催県は三重県という事で、愛知県からもまた参加できればと思います。



## ～平成26年度欧州農業研修生の壮行会に参加して～

副会長 杉浦 知広 (西尾)

平成27年3月3日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、欧州農業研修生の壮行会が研修生の保護者、来賓、事業関係者が出席し開催されました。本年度は、愛知県からは都築桜子さん、松岡純也くん、愛知県ではありませんが会員の横山さんの所で研修をしていた徳網玲さんがともにオランダに渡航することとなりました。

壮行式では、国際農業者交流協会会長の石井氏、来賓として国際農友会会長の本間氏、欧州講習所所長の由利氏がそれぞれの立場から激励の言葉と無事帰国して欲しいとの願いを託しました。それを受け研修生側からは、決意表明と歌の合唱のサプライズがありました。

その後、壮行パーティーが立食形式で行われ和やかな雰囲気の中、研修生は期待と不安でいっぱいの胸のうちの保護者や関係者と語り合っていました。壮行会を通して私自身も当時を思い出すとともに、同じぐらいの年の子供を持つ親として、彼らの成長と無事を痛切に願う機会となりました。

最後に、愛知県国際農友会のブログに記事を投稿して欲しいとお願いしておきましたので研修中の記事と無事帰国を期待して待ちましょう。



## ～アジア農業研修生の受け入れ～

(公社)国際農業者交流協会が実施している「アジア農業青年人材育成事業」により、本会の会員がアセアン諸国等の海外農業研修生を受け入れています。本年度は本県にインドネシアから計5名の青年が訪れ、4月25日から約10か月間、本県の各会員宅に滞在し、研修されました。

海外農業研修生及び受入会員

研修生氏名	受入会員 (支部)	作目
ブホリ	横山 賢一 (尾張東)	野菜
エディ スタルディ	宮下 優子 (尾張東)	酪農
スヨノ	原 宜延 (海部)	切花、水稻
ピアン サオリ	平田 正樹 (西尾)	切花
スタルト	内藤 尚志 (西尾)	切花



本会では、通常総会にあわせて歓迎会を開催したほか、会員交流会や国際農業者フォーラムにも研修生の皆さんに参加いただきました。また、協会から地方研修を委託され、11月6日から7日の2日間、愛知県農業総合試験場などの視察研修を行いました。



地方研修（愛知県農業総合試験場）

## 平成26年度の主な活動

### ■ 平成26年度通常総会

6月4日、名古屋市の名古屋栄東急インで開催し、平成25年度事業報告と平成26年度事業計画などが承認されました。総会には、愛知県農林水産部長の中野幹也様を始め関係機関の方々に多数御出席いただき祝辞をいただきました。

今回は、総会前に豊田市産業部農政課の鈴木利介様から「豊田市フルーツ酒特区～農業者と地域の連携による活性化への取組～」として講演をいただきました。

総会後には、平成25年度中に帰国されました海外派遣農業研修生の帰国報告会、平成26年度のアセアン農業研修生の歓迎会を行うとともに、引き続き交流会を開催し、会員相互の情報交換を図りました。

### ■ 海外派遣研修生の帰国

平成26年3月に山本真規子さん（スイス・酪農）、斉藤慶子さん（オランダ・酪農）、山本一徳さん（オランダ・切花）、10月に村田佳祐さん（アメリカ・切花）の4名が帰国されました。

通常総会では帰国報告会、国際農業者フォーラムでは研修成果などを語っていただきました。研修内容や感想などについては、平成27年度通常総会で配付する「夢は大きく世界へ」を御覧ください。

### ■ 新たな海外派遣農業研修生の発掘

7月8日に愛知県立農業大学校において、農大生86名の参加者に対して「海外派遣農業研修事業説明会」を開催しました。当日は（公社）国際農業者交流協会の清水様から事業内容を紹介いただくとともに、派遣研修体験者2名からオランダ、アメリカ研修についてお話いただきました。

また、8月8日には愛知県が行う「海外派遣農業研修生推薦選考会」に協力し、小管康博理事（安城・岡崎支部）、鈴木隆玄理事（豊橋支部）が選考委員を務め、1名を国際農業者交流協会に推薦しました。

さらに、今年度からの新たな取り組みとして、農業高校における啓発活動も行いました。

### ■ 海外派遣農業研修生の激励

平成27年3月から、県推薦の都築桜子さん（オランダ・切花）、大原創太さん（アメリカ・造園）、一般応募の森下宗孝さん（アメリカ・野菜）、清水翔平さん（アメリカ・野菜）、西川弘晃さん（アメリカ・野菜）、松岡純也さん（オランダ・切花）の6名が海外研修に派遣されました。

また、一般応募の石黒峻登さん（スイス・複合）が、アプレントイスシップ・トレーニングを経て、28年3月に派遣される予定となっています。



国際農業者フォーラムにて

2月の国際農業者フォーラムでは、激励会において研修への抱負などを語っていただきました。

### 紹介コーナー

○愛知県国際農友会のホームページアドレス <http://www42.tok2.com/home/nouyukai/index.html>

○公益社団法人国際農業者交流協会のホームページアドレス <http://www.jaec.org/>